

# 銀河レポート401

No. 58  
3月号

発行日：令和2年3月1日  
編集&発行：四日市市立博物館 天文係  
電話：059-355-2700  
HP：<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

## 3月の星空

### 北斗七星

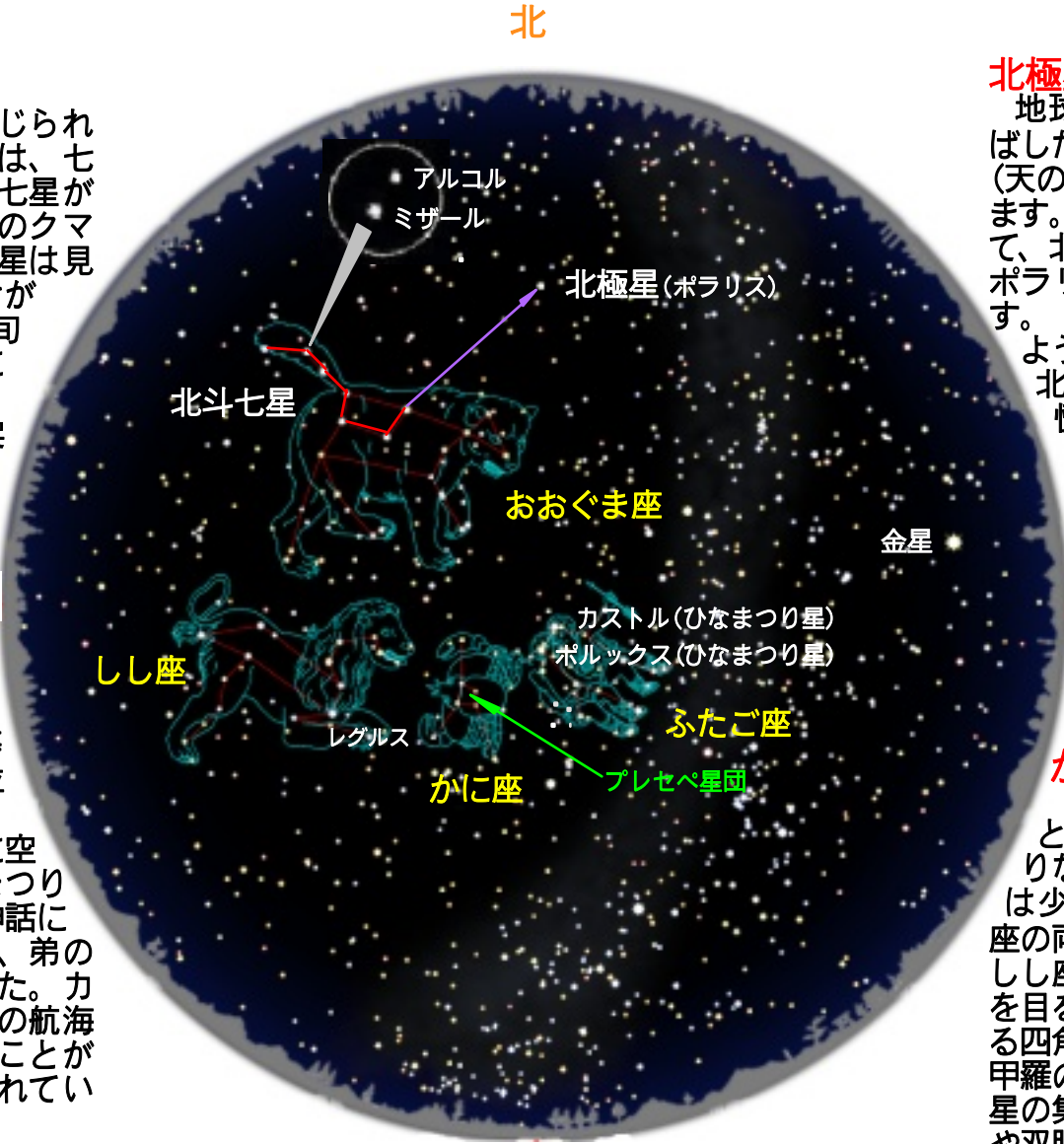
3月になり、少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。北の空では、七つの星がひしゃくの形に並んだ北斗七星が昇ってきています。「おおぐま座」のクマの腰から尻尾にあたります。北斗七星は見上げる時刻や季節によって、その傾きが変化して見えるのが特徴的で、3月中旬の21時頃は、ひしゃくの柄が縦向きになった姿を見ることができます。

柄の方から数えて二つ目の星は、実は、ミザールとアルコルという二つの星が並んで見える二重星です。夜空の暗い場所であれば肉眼でも見分けることができます。二つの星が見えるかどうか、ぜひ夜空で確かめてみてください。

### ふたご座

ふたご座は、2等星のカストルと1等星のポルックス、二つの明るい星が並んで輝く、見つけやすい星座です。

日本では、ちょうどひな祭りの頃に空の高いところに昇ることから「ひなまつり星」とも呼ばれています。ギリシャ神話によると、兄のカストルは乗馬の名手、弟のポルックスはボクシングの名手でした。カストルとポルックスは、アルゴ船での航海中に、星に導かれて嵐を切り抜けることができたことから、航海の守護神とされています。



3月15日21時の星図

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

### 北極星

地球の自転軸(地軸)をまっすぐ北に伸ばした方向、つまり、地球の北極の真上(天の北極)にある星を「北極星」と呼びます。いつも北の空のほぼ同じ位置にあって、北を指し示す便利な星です。現在は、ポラリスという恒星が北極星に相当します。「歳差(さいさ)運動」というコマのような地軸の首振り運動のために天の北極は少しずつ移動し、将来、別の恒星が北極星となります。全天の星は、時間とともに北極星を中心に反時計回りに回っているように見えます。北極星は、2等星のため少し暗いので、見つけるには

西 北斗七星を利用すると便利です。北斗七星のひしゃくの先端にある二つの星の長さの5倍の位置で見つかります。

### かに座とプレセペ星団

かに座は、お誕生日の12星座のひとつですが、4等星以下の暗い星ばかりなので夜空で見つけたことがある人は少ないのではないのでしょうか。かに座の両隣にいるふたご座のポルックス、しし座のレグルスのちょうど中間あたりを目を凝らして探すとカニの甲羅にあたる四角い星の並びが見つかります。この甲羅の中にぼんやりと雲のように見える星の集まりがプレセペ星団です。望遠鏡や双眼鏡で見ると、約40個の星の集団がきれいに見られます。

## 宇宙塾 第2回 報告

### 誰でも宇宙へ行ける？

～宇宙エレベーターの実現に向けて～

2月8日(土)に日本大学より、青木義男先生をお招きして「宇宙塾」を実施し、宇宙エレベーターの実現の可能性について詳しくお話しいただきました。



また、津工業高等学校の生徒のみなさんによる宇宙エレベーターの軽量モデルを使ったの演示実験も盛り上がりました。たくさんの夢を与えていただいた一日となりました。

## 宇宙塾 第3回

### 宇宙大航海時代へ

～漆黒の大宇宙への冒険～

小惑星探査機「はやぶさ初号機」の元プロジェクトマネージャの國中均さんをお招きして、「はやぶさ2」の様子や日本を始めとしたこれからの宇宙開発について語っていただきます。



講師：國中 均 氏 (JAXA宇宙科学研究所長)  
日時：3月21日(土)18時30分から20時  
場所：5階 GINGA PORT401(プラネタリウム)  
定員：140席(自由席)

※当日9時30分から1階総合受付にて座席券を配布(1名様につき1席分まで)  
料金：無料 ※中学生以下は保護者同伴

## 2月のガリレオ教室 報告

### 宇宙エレベーター

プラネタリウム番組に合わせて、宇宙エレベーターについて、映像とコズミックギャラリーの展示の両方を使って、天文ボランティアがわかりやすく解説しました。



参加者のみなさんは、基本的な内容から実現に向けての具体的なプランまでプラネタリウム番組の内容以外のことについてもたくさん学ぶことができました。



## ★★観望会★★



### 《博物館主催きらら号観望会》

日時：3月28日(土)  
時間：10時30分から12時  
場所：博物館前市民公園  
内容：安全な方法で太陽を観察しよう

※天候不良時は中止です。  
※当日は自由参加・無料です。

### 《天文ボランティア主催観望会》

日時：3月28日(土)  
時間：18時30分から20時  
場所：博物館前市民公園  
内容：月と金星を見よう

※天候不良時は中止です。  
※当日は自由参加・無料です。  
※きらら号は出動しません。

## 3月の月

3日		上弦
10日		満月
16日		下弦
24日		新月

## 編集後記

空を見上げると、ふたご座のカストルとポルックスの二つの星(和名「ひなまつり星」)が仲良く並んで輝いていて、春の訪れを実感します。今月、18日と19日の朝4時頃の南東の空に見える「いて座」付近に、火星、木星、土星の3個の惑星と月が集合します。そして4月にもよく似た現象が見られます。明け方に天体ショーが2度も見られる魅力的な春を迎えます。